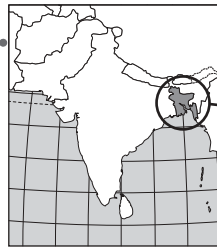


# ユニセフ子ども物語

地球に生きる子どもの暮らし

Bangladesh

バングラデシュ



地図は参考のために掲載したもので、  
国境の法的地位について何らかの立場  
を示すものではありません。



## 働きながら学ぶアクリマ

アクリマは、バングラデシュの首都・ダッカのスラムで、家族と一緒に暮らしています。毎朝7時半になると、町にできた教育センターへ行き、ベンガル語や社会、英語などの勉強をしています。2時間勉強した後、家に帰って昼食をとり、午後は食事の配達の仕事に出かけます。



アクリマは「絵を描くのが大好き。もっと遊ぶ時間がほしいけど、教育センターに通えるようになってよかった」と言っています。教育センターの教室には机もイスもありません。でも、子どもたちは真剣なまなざしで字を書いたり、教科書を声に出して読んだりしています。「大きくなったら学校の先生になりたい」と、アクリマははずかしそうに笑顔をうかべて、将来の夢を話してくれました。

8歳のアクリマにとって、毎日働くのは大変なことです。食事の配達の仕事のほかに、家の手伝いもしなければなりません。「私が仕事をすると、家族の助けになるわ。だから働くの」とアクリマは言います。食事配達の仕事の日当は20タカ(約34円)、1ヵ月で600タカ(約1,020円)もらえます。これは、小さな弟や妹もいるアクリマの家族にとって、大切な収入なのです。

両親は当初、アクリマが教育センターに通うことを、ためらいました。センターに通うことで、仕事ができなくなってしまったら、生活が苦しくなってしまうからです。センターのスタッフは、アクリマの両親や雇い主に話をして、仕事をしながらセンターで勉強ができることや、教育の大切さを説明してくれました。アクリマも一生懸命お願いして、ようやくセンターに通えるようになったのです。



〈文・構成：(財)日本ユニセフ協会〉

バングラデシュはガンジス川、ブラマプトラ川、メグナ川などによって形成されたデルタ地帯に位置しています。水に恵まれ、肥沃な土壌は水田耕作に適していますが、度重なる洪水、サイクロン、竜巻といった自然災害が経済発展を阻害しているほか、過剰な人口も社会問題となっています。

# バングラデシュの子どもたちの命を守り、教育を支える取り組み

## スラムに住む子どもたちのための教育センター



ダッカ市内の教育センター ©日本ユニセフ協会

バングラデシュでは、近年、農村部から都市部へ移り住む人が増え、首都ダッカ市内には3,000ものスラムがあるとされています。

アクリマのように、ダッカのスラムに暮らしながら働く子どもたち6,000人のために、ユニセフは政府やNGOと協力して、教育センターを約100カ所に設置しました。このセンターの目的は、6～9歳の働く子どもたちが基礎的な教育を受けられるようにすることで、午前と午後、交代制で1日2回授業が行われています。



©日本ユニセフ協会

自分が描いた絵を見せる子どもたち。ノートはベンガル語と英語の両方で書かれている



壁には生徒が描いた絵が貼られている ©日本ユニセフ協会



©日本ユニセフ協会

村のトイレの設置状況を把握するための地図。保健普及員が1軒ずつ訪問して確認する

## 世界最大規模のはしか予防接種キャンペーン

バングラデシュでは、年間2万人もの5歳未満の子どもがはしかにより、亡くなっています。2006年3月、バングラデシュ政府は、ユニセフやWHO、日本政府の支援を得て、世界最大規模のはしか予防接種キャンペーンを実施しました。

予防接種は、9ヵ月から10歳の子どもの3,300万人を対象に、学校や地域の集会所など全国25万カ所で行われました。実施前には、保健員が各世帯を訪問したり、人力車に広告用の旗をつけて宣伝をしたり、イスラム教の礼拝堂(モスク)のスピーカーで予防接種への参加を呼びかけました。

キャンペーンは成功裏に終わり、多くの子どもたちの命をはしかから守ることができました。



予防接種を呼びかける黄色い旗 ©日本ユニセフ協会

## 衛生習慣を定着させる取り組み

ユニセフは人びとに衛生習慣が定着するよう、保健普及員や小学校を通じて、さまざまな取り組みを行っています。

保健普及員は各村を訪問し、食事や調理の前、トイレの後には、石けんや灰で両手を洗うこと、清潔なトイレを使うことなどの衛生習慣を実演、紹介します。そして、これらの習慣が継続して行われているか、トイレは設置されているかなどの状況を地図に書き込み、モニタリングします。

このような地道な活動によって、子どももおとなも衛生に対する理解を深め、衛生状況の改善が進んでいくのです。

「子ども物語」を活用して学習活動をされた先生はぜひご一報ください。内容をご紹介させていただきます。